



FACTBOOK 店頭販売決定記念

リーディングにも効果絶大!? 『総合英語 FACTBOOK』による文法学習の力 ～ 2019年1月実施「大学入試センター試験(筆記)」を例に～

学校採用でのみご使用いただいていた、桐原書店の新しい文法参考書『総合英語 FACTBOOK』(以下 FACTBOOK)の店頭販売がついに決定いたしました。3月下旬より開始の予定です。そこで今回は、FACTBOOKの魅力について、英語編集部からお届けします。

FACTBOOKは、スピーキング力、ライティング力に直結する文法力を養成する参考書ですが、実はリーディング力もしっかりと身につく本でもあります。1月に実施されましたセンター試験(筆記)の問題を例に取り上げて、その「知られざるリーディング効果」を説明したいと思います。

今年のセンター試験は、昨年同様、総語数が4,000語を超え、第6問には800語を超える英文が出題されました。限られた時間内に、長い英文を「素早く、的確に」読み解くには、FACTBOOK p.490『この文法が与えた力』にあるように、「英語の語順通り」文を理解することが必須となります。語順通りに読むことこそ、まさにFACTBOOKの目指すところです。

第6問の英文を見てみましょう。



※図はイメージです。

①The seaways, which developed based on winds, waves, water depths, and coastline geography, were ②critical for the navigation of ships, ③particularly in the days when they moved mainly by wind power. (①海路は、風、波、水深および海岸線の地理学に基づいて発達したが、②船の航海には極めて重要なものであった。③とりわけ、船が主に風力によって動いていた時代には重要であった。)

【2019年度大学入試センター試験、第6問、第3段落】

下線部①の長い主語も、「説明ルール」を踏まえて語順通りに読んで見抜くことができます。「説明ルール」により、文頭の名詞 seaways の後の which 以下は seaways を説明する関係代名詞節 (p.498【修飾による拡張】(9)(f))であることがわかり、「文頭から(助)動詞の前までが主語の位置」(p.494【主語の拡張】)であることから、which の後の were の直前の geography までが主語であることがわかります。

また、were (be動詞)は「基本文型2:説明型」を取る (p.18)ことから、後の下線部②は①の説明語句であり、さらに続く下線部③は、①から②の末尾 ships までの内容を説明する前置詞句 (p.498【修飾による拡張】(9)(a))であることがわかります。ちなみに、①、②、③の内部にも説明ルールが働いていますが紙幅の関係でここでは割愛します。

このように英文を左から右へ読んでいくために必要な文法情報が FACTBOOK には詰まっています。特に巻末の「この文法が与えた力」(p.490～)では、FACTBOOK 全編を「文型」「指定ルール」「説明ルール」の観点から総括しており、FACTBOOK の文法学習がリーディングにもつながることがよくわかる内容となっています。

第34号の記事で取り上げたように、大学入学共通テスト第2回試行調査(筆記試験)の問題傾向は、1.短時間で大量の英文を、2.正確に読むことを要求するものでしたが、センター試験も、少なくとも英文の量についてはすでにその方向に向かっており、英語の語順に注目する FACTBOOK で文法学習をしておけば、入試対策を有利に進めることができるはずです。

総合英語



FACTBOOK

[ファクトブック]

これからの英文法

大西泰斗／ポール・マクベイ 著

A5判 560頁／定価 本体1,500円+税
音声データダウンロード、無料学習アプリ対応

3月下旬
全国書店にて
販売開始!

THE ENGLISH FACTBOOK

Hiroto Onishi & Paul McVay

英語「4技能」の時代に学ぶすべての学習者に捧ぐ
「話せる英語」の扉が開く!

大西泰斗 × ポール・マクベイ



学びが
変わる!

語順とイメージで英文法を
らくらくマスターしよう!



学習に喜びと感動を
桐原書店

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-15-3 住友不動産西新宿ビル 3号館
TEL : 03-5302-7010 FAX : 03-5302-7031 www.kirihara.co.jp